

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票					No.	13-007	
PDCA	事務事業名	畜産臭気監視事業	部課等名	市民経済部 環境課	担当	森下	
					内線等	333	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち					
		節： 第3節 生活環境の向上					
		基本施策： 3. 環境衛生対策					
		単位施策： (2) 環境衛生の維持・予防					
	根拠法令等	悪臭防止法					
	対象・目的	良好な生活環境を確保するため、畜産事業所から発生する臭気を監視し、その低減を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	大同大学との共同研究で開発したハンディタイプの簡易臭気センサーを活用し、市内の全畜産施設の臭気測定を実施する。センサーの値が高い畜産施設においては臭気指数測定を行い、臭気指数が高い事業所に対しては、共同研究で得られた臭気低減方法の実践を働きかけ、住宅地における畜産臭気の低減を図る。 また、乾燥施設投入時のふん尿の含水率が高いと悪臭の発生原因となるため、臭気測定の際に含水率を測定し、結果を畜産農家に通知する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		大学との共同研究（現地調査等）【H30年度で終了】	25	—	—	回	
		臭気指数測定実施件数（延べ）	50	162	77	件	
		事業費	3,462	787	561	千円	
		人件費	4,372	1,863	617	千円	
		総事業費	7,834	2,650	1,178	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	市民1人あたりの臭気対策コスト	65	22	10	円		
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		臭気指数15以下の畜産施設の割合	実績値	100.0	94.4	94.5	%
			目標値	90.0	100.0	100.0	
			実績値				
			目標値				
		実績値					
		目標値					
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性		効率性	
	①市の関与の妥当性 法定事務		④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある	
	②市民ニーズ 高い		⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更		
	事業の評価・課題	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ある	⑧受益者負担適正化余地	—
		C					
		令和元年度から実施している、大同大学との共同研究で開発した簡易臭気センサーを活用した臭気測定を引き続き実施した。令和元年度に市内の全畜産施設で行った3回の臭気測定により、継続して強い臭気が発生している施設がある程度把握できたため、それらの施設に焦点を絞った効率的な測定ができた。一方で、強い臭気が発生している畜産農家に対しては、測定結果の通知と併せて指導・助言を行ったが、臭気低減につながっていない。					
		今後の事業の方向性	改善推進				
			悪臭発生の大きな原因である「乾燥施設でのふん尿の乾燥がうまくできていないこと」について、ふん尿の投入量が施設の能力をオーバーしていることを認識している畜産農家もあり、施設改修（拡張）の意向が確認できたため、改修（拡張）に対して、経済課と連携して支援や助言を行う。その他の継続して強い臭気が発生している畜産農家に対しても、施設の改修など、ハード面での対策を働きかけていく。				
		令和3年度の目標	成果指標			目標値	単位
臭気指数15以下の畜産施設の割合			100	%			